



〈企画展示〉

# 遺跡から見た戦争

## — 軍都名古屋を掘る —

入館無料

かつて軍需工場が集積していた「軍都名古屋」には、近代の戦争に関係する建物や空襲の跡などの遺跡、いわゆる「戦争遺跡」が数多く残されています。

今回は、「軍都名古屋一陸軍兵営の建設」、「遺跡から見つかった戦時下の暮らし」、「防空壕跡から町並みを復元する」と題したパネルの展示や、発掘調査で出土した陶磁器、空襲戦災を受けた瓦、ガラス瓶などの実物資料を展示することにより、名古屋空襲や当時の県民の生活などについて理解を深めます。



白色硬質磁器（名古屋城二の丸出土）



灰皿（名古屋城三の丸出土）



「血兵品三番」と墨書きされた花瓶（名古屋城三の丸出土）

2019年 **7月13日(土) - 11月10日(日)**

場 所：愛知・名古屋 戦争に関する資料館  
名古屋市中区丸の内三丁目4番13号 愛知県庁大津橋分室 1階

開館時間：午前10時～午後4時

休 館 日：月曜日・火曜日（祝日の場合は開館し、直後の平日が休館）  
※夏休み期間中（7月22日～8月31日）は無休

主 催：戦争に関する資料館運営協議会（愛知県と名古屋市が共同で設置）



愛知県庁大津橋分室

